

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

2020年11月9日(月)



証券コード:8541

目次

2021年3月期 第2四半期の決算概要（単体）について

> 決算概要	4	> 経費の状況	9
> 預金・譲渡性預金の状況	5	> 開示債権・信用コストの状況	10
> 貸出金の状況	6	> 自己資本の状況	11
> 預り資産の状況	7	> 配当政策の状況	12
> 有価証券の状況	8		

2021年3月期 第2四半期の 決算概要（単体）について

決算概要

● 経常利益、中間純利益ともに業績予想を上回る利益を計上した。

● 経常利益【実績】31億円、【業績予想】30億円 ● 中間純利益【実績】23億円、【業績予想】21億円

	2019/9	2020/9	前年同期比
業務粗利益	13,859	13,619	△ 240
コア業務粗利益	13,591	13,584	△ 7
資金利益	15,044	14,703	△ 341
役務取引等利益	△ 976	△ 825	151
その他業務利益	△ 476	△ 292	184
国債等債券損益	268	34	△ 234
経費	10,502	10,288	△ 214
実質業務純益	3,357	3,330	△ 27
コア業務純益	3,089	3,296	207
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	3,075	3,244	169
一般貸倒引当金繰入①	-	-	-
業務純益	3,357	3,330	△ 27
臨時損益	9	△ 196	△ 205
貸倒償却引当費用②	△ 403	409	812
株式等関係損益	△ 451	231	682
その他臨時損益	57	△ 17	△ 74
経常利益	3,366	3,134	△ 232
特別損益	△ 44	△ 38	6
中間純利益	2,647	2,381	△ 266
信用コスト（①+②）	△ 403	409	812

(百万円)

● コア業務純益

・資金利益

貸出金利の低下の影響で貸出金利息収入が減少したことなどにより、資金利益は前年同期比3億円の減少。

・役務取引等利益、その他業務利益
前年同期比3億円増加。

・経費

物件費の抑制に努め、前年同期比2億円の経費を削減。

● 中間純利益

・中間純利益

前年同期比では2億円の減益となったが、業績予想を上回る利益を計上。

・信用コスト

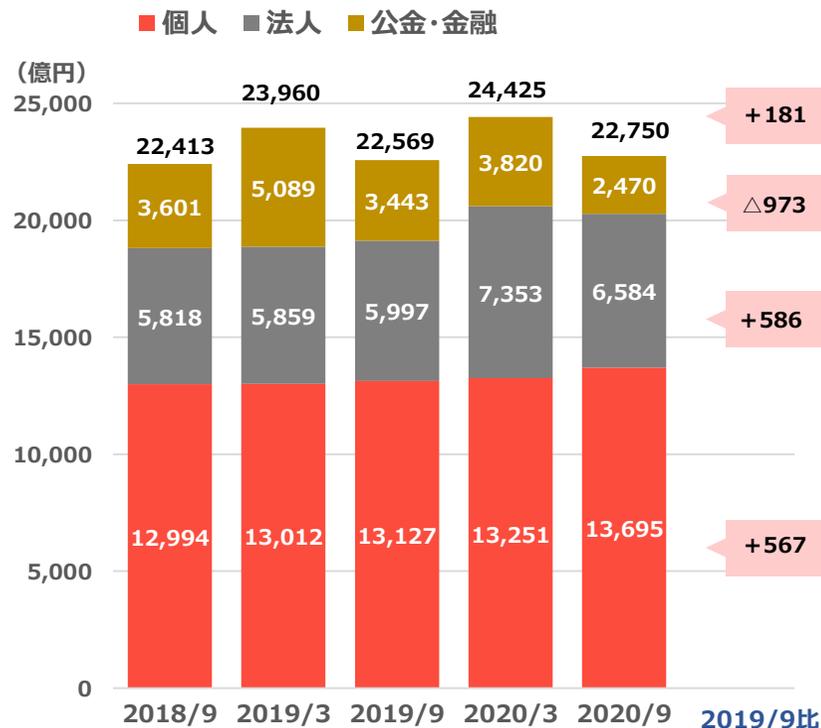
貸出金の償却に伴い、信用コストは増加。

※各係数については、単位未滿を切り捨てた値を記載している。以下特に注記がなければ同様。

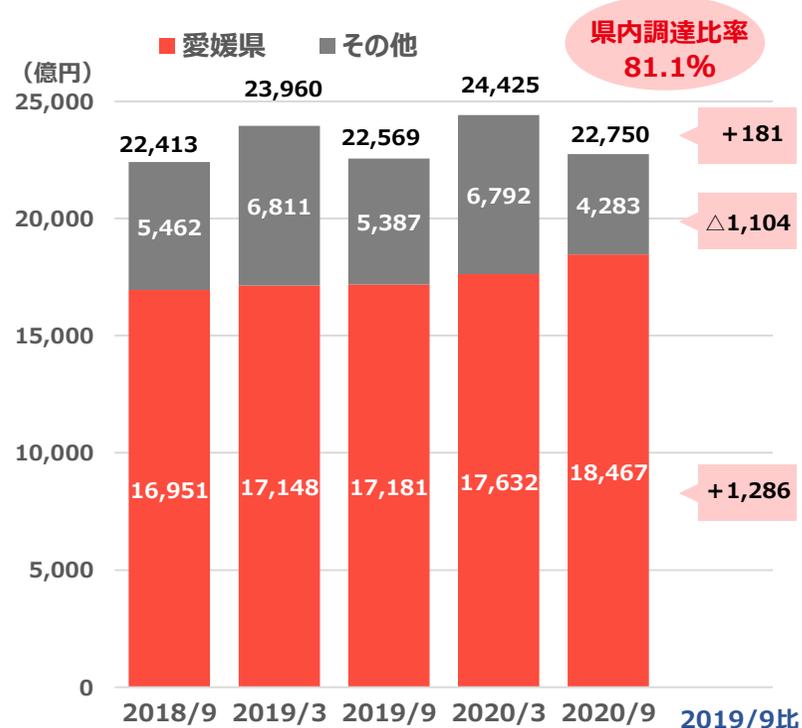
預金・譲渡性預金の状況

- 預金・譲渡性預金（未残）は、法個人ともに順調に増加し、前年同期比 +181億円となった。
- 愛媛県内における調達比率は、8割を超えた高水準を維持している。

主体別 預金・譲渡性預金（未残）の推移



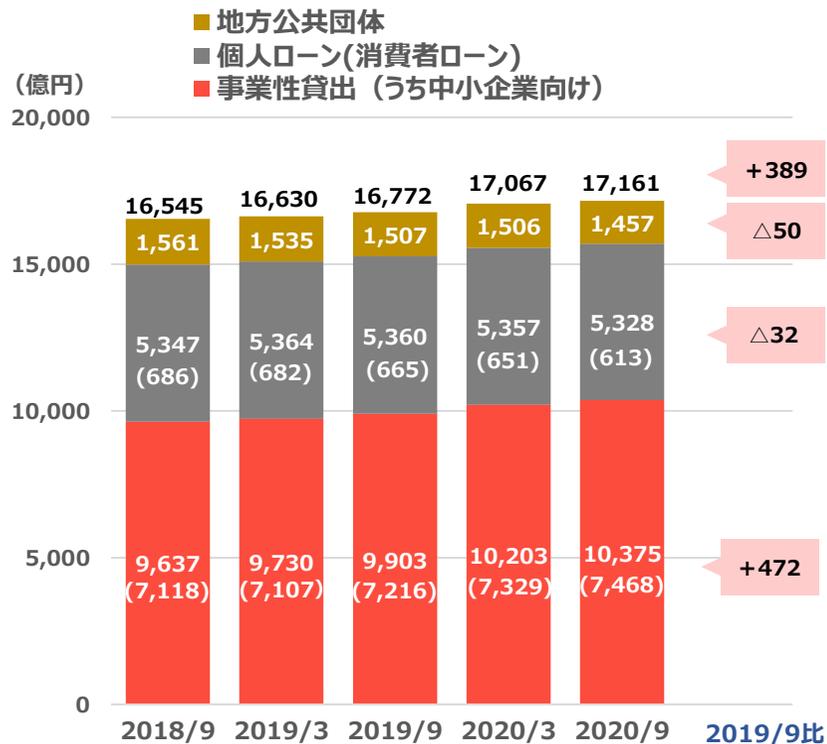
地域別 預金・譲渡性預金（未残）の推移



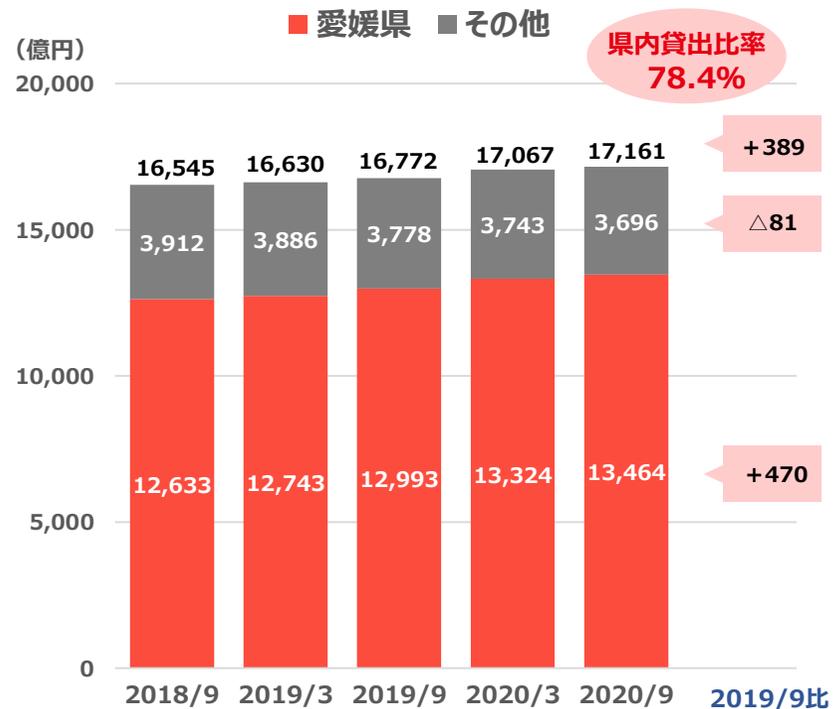
貸出金の状況

- 貸出金（末残）は、新型コロナウイルスの流行に伴う資金繰り支援を通じ事業性貸出が増加し、前年同期比 +389億円となった。
- 県内向け貸出比率は、年々増加している。

主体別 貸出金（末残）の推移



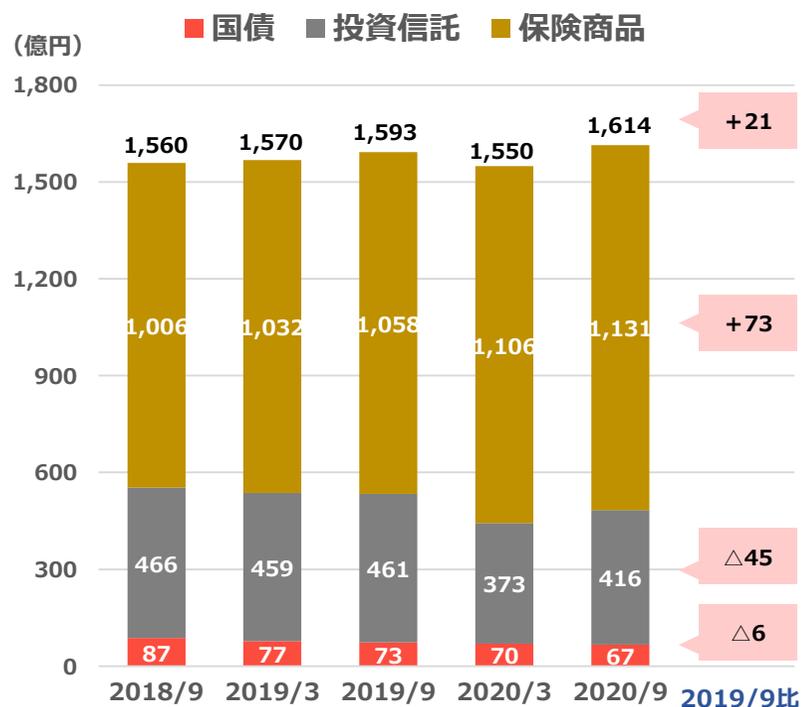
地域別 貸出金（末残）の推移



預り資産の状況

- 預り資産は、保険商品が順調に増加し、前年同期比 21億円増加した。
- 「お客様本位の業務運営」の定着に向け、ホームページ上で成果指標（KPI）を公表している。

預り資産残高の推移



成果指標(KPI)の公表項目(一部抜粋)

- ・個人向け生命保険平準払い保険の販売推移
- ・積立投信契約状況の推移
- ・投資信託販売上位10銘柄の推移
- ・投資信託アフターフォローの実施状況
- ・投資信託の販売・解約・残高推移
- ・「お客様本位の業務運営」に関する研修の実施状況
- ・FP資格保有者数

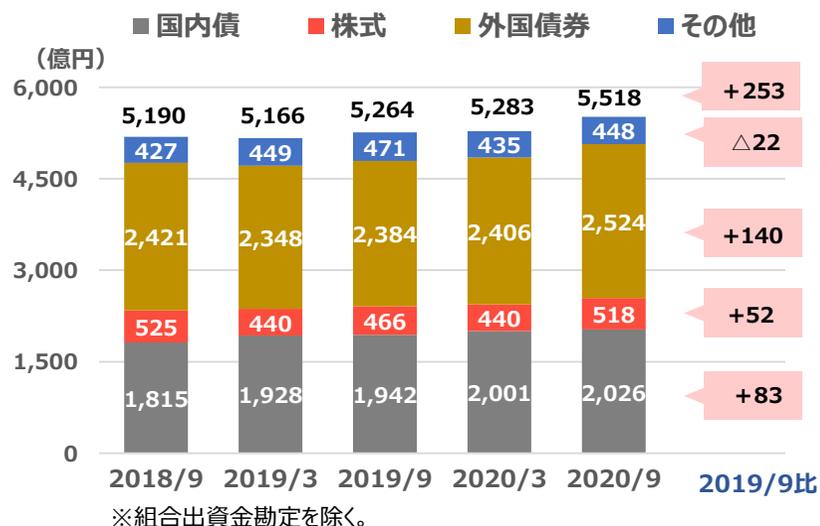
その他諸項目

詳細については[こちら](https://www.himegin.co.jp/policy/fiduciaryduty/)をご覧ください。
(<https://www.himegin.co.jp/policy/fiduciaryduty/>)

有価証券の状況

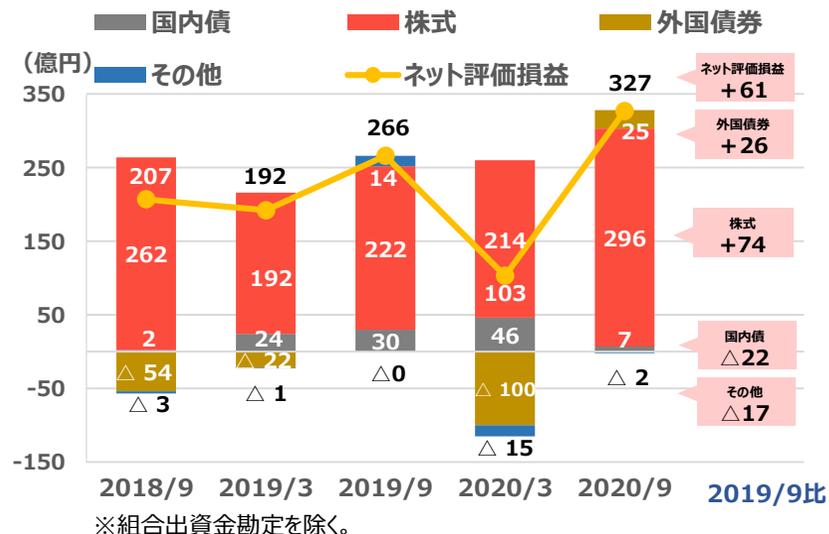
- 有価証券ポートフォリオは、リスクをコントロールしつつ、多様な運用を継続している。
- 有価証券評価益は、概ね200億円を超える水準で推移している。

有価証券残高の推移



	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9
デュレーション	4.6年	4.4年	3.9年	3.8年	3.5年

有価証券評価損益の推移（その他有価証券）



外国債券の通貨別残高内訳

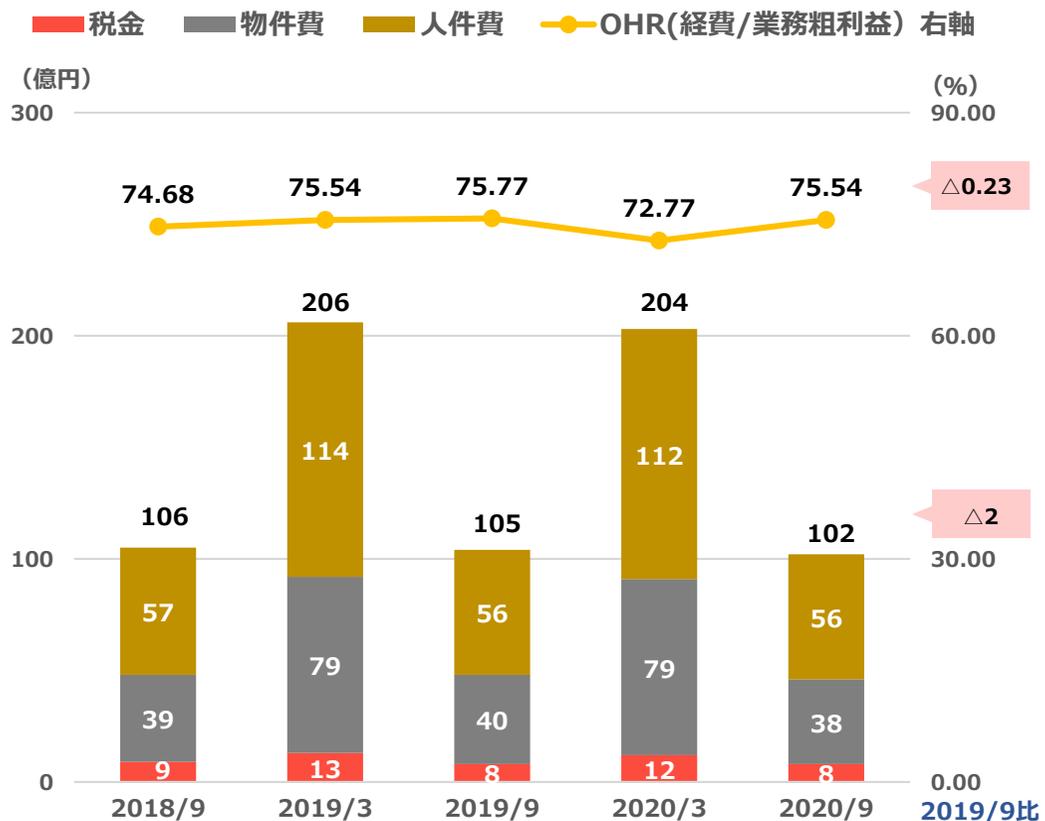
	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2019/9比
JPY¥	374	309	297	306	△2
US \$	1,888	1,875	1,920	2,009	+134
EUR€	85	199	189	207	+8

※為替リスクは取っていない。（外貨運用・外貨調達）

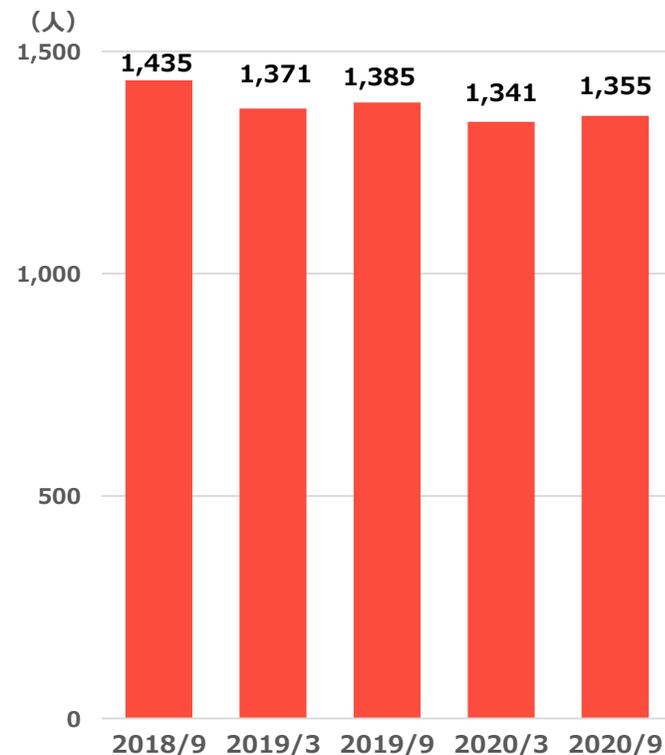
経費の状況

- 物件費については、業務の見直しと効率化をすすめ、前年同期比2億円の経費削減となった。
- 引き続き生産性向上に向けたBPR施策をすすめていく。

経費とOHRの推移



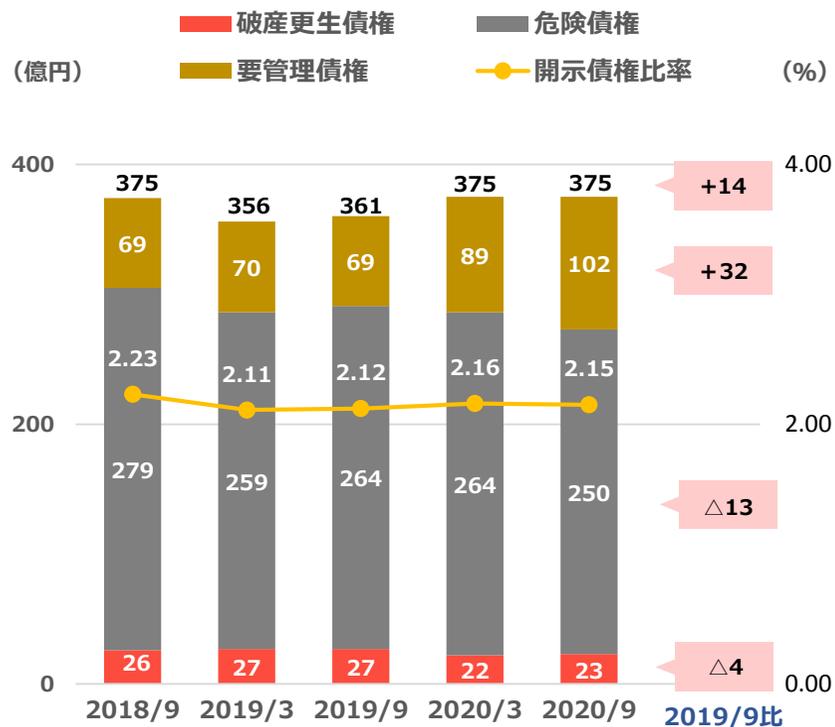
行員数の推移 (臨時雇用及び嘱託を除く)



開示債権・信用コストの状況

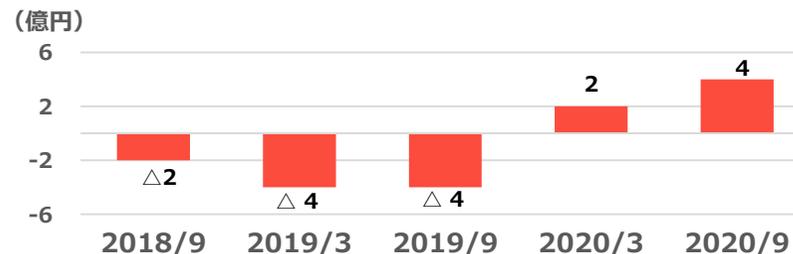
- 開示債権比率については、2%台前半で安定推移している。
- 貸出金の償却を実施したことにより、信用コストは前年比増加したが、低水準で推移している。

金融再生法開示債権の推移

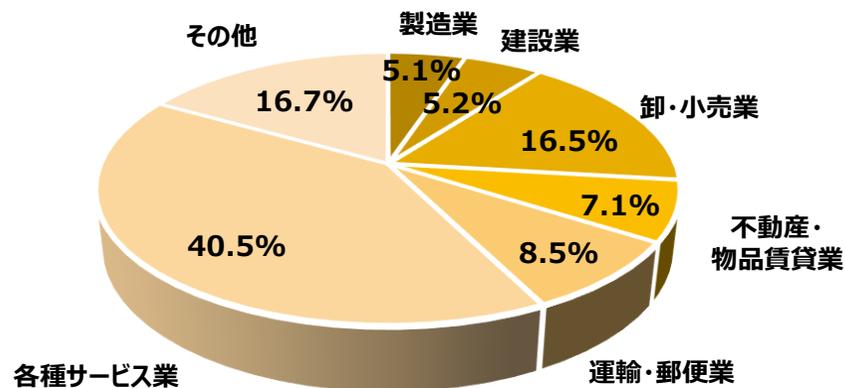


※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

信用コストの推移



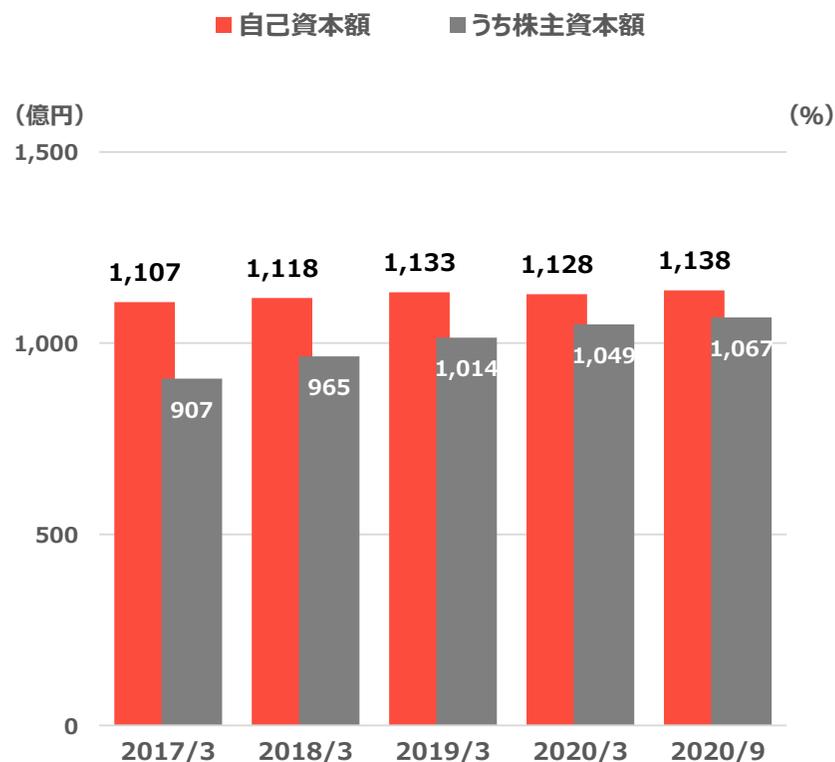
業種別リスク管理債権の内訳



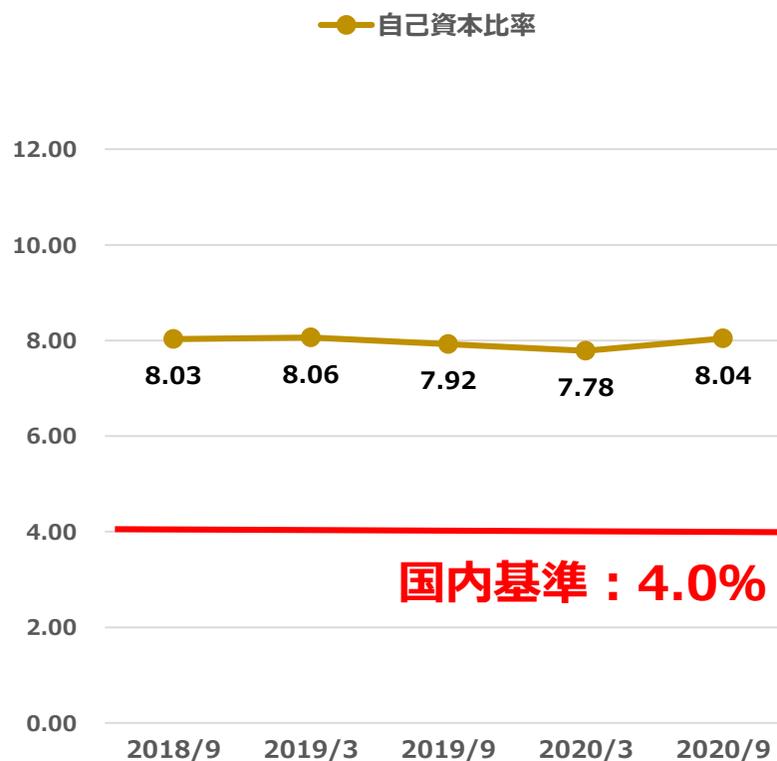
自己資本の状況

- 自己資本額は、内部留保等により順調に積み上がり、自己資本比率は8%台を回復。

自己資本額の推移



自己資本比率の推移



配当政策の状況

- 毎期30円の安定配当を実施し、配当性向は20%超を維持している。

配当利回りと配当性向



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 (予想)
配当金	18円	32円	30円	30円	30円

注 1) 2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施。
 注 2) 2021年3月期の配当利回りは、2020年9月末の株価で算出。
 注 3) 2018年3月期は過去最高益に伴い、2円の特別配当を実施

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>